

平成30年度
事業報告

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

公益財団法人岩手県国際交流協会

「平成 30 年度事業報告」目次

< 概要 >	1
< 事業活動 >	
1 地域に根ざした国際理解・交流の推進	3
(1) 国際交流の推進	3
(2) 国際理解の推進	5
(3) 市町村、市町村国際交流協会、国際交流団体等との連携	6
2 多文化共生の地域づくり	10
(1) 情報の収集・提供	10
(2) 日本語学習支援	11
(3) 外国人県民等の生活支援	11
(4) 地域づくりセミナーの開催	16
3 次代を担う人づくり	17
(1) 講座・研修	17
(2) 海外研修員等の受入れ支援	19
(3) 「いわてグローバル人材育成推進協議会」事業の運営	19
< 管理部門 >	
1 評議員会・理事会等の開催状況	21
2 業務執行体制等	22
(1) 職員の状況	22
(2) コンプライアンス体制及び職員研修	22
(3) JICA 国際協力推進員の配置	22
3 寄附金及び賛助会員の状況	22
(1) 寄附金の受入れ	22
(2) 賛助会員の入退会	22

平 30 年度事業報告

＜概 要＞

平成 30 年度は、事業計画に基づき、「地域に根ざした国際理解・交流の推進」、「多文化共生の地域づくり」、「次代を担う人づくり」の 3 つの柱に沿って各種事業に取り組み、本県における国際交流・協力・多文化共生の推進に努めた。

特に、技能実習生や外国人観光客の急増に加え、ラグビーワールドカップ 2019[™] 釜石開催や国際リニアコライダーの実現に向けた対応が本格化する中、在住外国人や外国人旅行者等が、地域で安心、安全に生活や滞在することができる環境の整備や地域の国際化推進の取組の必要性が高まっていることから、取組の主要な担い手となる市町村や市町村国際交流協会、関係団体等との連携を一層強化する人材の育成や、多文化共生の推進に向け情報を共有するための「いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンク」の開設、世界とのかけはしとなる人材育成支援事業「いわて青年国際塾」の実施などに取り組んだ。

また、新たな在留資格により増加が見込まれる在住外国人への対応を図るため、日本語サポーターや災害時における多言語サポーター育成のための研修の実施、外国人患者受入に資するための研修やセミナーの開催など、外国人受入れの基盤となる体制の整備促進に努めた。

さらに、県内各地域で若い世代と留学生等とが一緒になってグローバル化に対応した地域活性化について考えるワークショップを開催したほか、海外留学への意識高揚を図るための講座の開催や「いわてグローバル人材育成推進協議会」として、大学生等の海外留学支援事業や外国人留学生等の高度人材の県内就職を支援する取組を実施するなど、若年人材の育成に重点的に取り組んだ。

3 つの柱における主な事業実施の概要は、次のとおりである。

1 「地域に根ざした国際理解・交流の推進」

県の国際交流センターの管理運営を受託し、アイーナ入居団体や在住外国人等との連携による交流イベントや語学コーナーを定期的実施するなど、センター利用者の拡大に努めた。

「2018 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」においては、「世界にトライ！」をテーマに、各国のアクティビティや和文化の体験を通じて相互理解を図る機会を設けたほか、市町村及び市町村国際交流協会との連携推進を図るために情報交換や研修、共催事業の実施などを行った。

また、市町村及び県内の国際交流団体等が行う取組へ、在住外国人等を講師等として紹介するほか、ホームステイを通じた国際交流の推進など、県内全体における国際化の促進に努めた。

2 多文化共生の地域づくり

多言語ホームページの更新や情報紙の発行、「いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンク」の開設など多角的な情報提供機能の充実を図った。

また、技能実習生や外国人観光客の増加など多様化する外国人への対応に向けて、日本語学習支援者の指導力の向上を目的とした研修の実施や、災害時に多言語支援を行うサポーターの育成研修や実践訓練、医療機関等での外国人患者受入がスムーズに行われるよう研修会やセミナーの開催を行うとともに、多文化共生の地域づくりについてのセミナーやワークショップを開催し、外国人が活躍できる地域社会の推進を進めた。

3 次代を担う人づくり

世界とのかけはしとなる人材育成支援事業として「いわて青年国際塾」を高校生や大学生など若い世代を対象に県内で10回開催し、留学生とともに考えるワークショップやグローバルな問題について新しい視点から学ぶ講座や講演会を通じて、グローバル社会への対応や海外留学への意識高揚を図った。

また、「いわてグローバル人材育成推進協議会」として、県内の大学生等5名の海外留学の支援や外国人青年や外国人留学生等のグローバル人材の県内企業への就職を支援するキャリアフェアやインターンシップ、企業訪問など、本県のグローバル化を担う若い人材の育成に重点的に取り組んだ。

＜事業活動＞

1 地域に根ざした国際理解・交流の推進

(1) 国際交流の推進

① 国際交流センターの運営(県委託等)

岩手県から委託を受けて、国際交流センターにスタッフ6名及び外国人相談専門員等6名を配置し、国際交流等の情報提供、在住外国人に対する相談や生活支援のほか、国際交流の拠点施設としてセンター利用者への対応等を行った。

- ・来館者数 160,515人 (前年度 145,656人)
- ・インターネット利用者数 1,746人 (前年度 2,262人)
- ・情報提供件数 2,130件 (前年度 1,281件)

② 外国人との交流会の開催

県国際交流員や留学生、在住外国人等との協働企画により、定期的に外国人との交流会や、英語、中国語、スペイン語、ベトナム語及びインドネシア語の各言語コーナーを開設し、参加者の拡大に努めた。

- ・開催回数 33回、参加者 延べ 1,410人
(前年度 23回、参加者 延べ 636人)



《内訳》

- 外国人との交流会 開催回数 6回、参加者 延べ 892人
- 語学コーナー 英語 (12回)、中国語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語 各5回開催 参加者延べ 518人

開催日		テーマ	参加人数
1	平成 30 年 4 月 21 日(土)	アフリカの巨人 ナイジェリア	35
2	平成 30 年 6 月 16 日(土)	キーウイの国 ニューージーランド	40
3	平成 30 年 7 月 14 日(土)	中国雲南省 Kids in いわて 2018	52
4	平成 30 年 9 月 1 日(土)	アフリカ音楽フェスタ	90
5	平成 30 年 10 月 8 日(月)	キッズ・カーニバル	629
6	平成 31 年 2 月 16 日(土)	芸術の国・フランス	46
7	平成 30 年 5 月 12 日(土)ほか	中国語コーナー	68
8	平成 30 年 4 月 14 日(土)ほか	スペイン語コーナー	67
9	平成 30 年 4 月 7 日(土)ほか	英語コーナー	269
10	平成 30 年 4 月 28 日(土)ほか	ベトナム語コーナー	66
11	平成 30 年 7 月 28 日(土)ほか	インドネシア語コーナー	48
合 計			1,410

③ 国際交流イベントの開催

ア 「2018 ワン・ワールド・フェスタ inいわて」の開催

在住外国人を含むボランティアや国際交流関係団体等と連携・協働して国際交流・国際協力、多文化共生について、広く県民に啓発普及を図る「2018 ワン・ワールド・フェスタ inいわて」をアイーナ（盛岡市）で開催した。

- ・開催日 平成 30 年 12 月 8 日（土）
- ・会場 国際交流センター他
- ・参加者 6,972 人（前年度 4,600 人）
- ・テーマ 世界へトライ！
- ・プログラム 「ワールドアクティビティ」、「ワールドエリア」、「和文化」、「ワークショップ」、「ワールドスポット」、「キッズコーナー」、「ワールドカフェ&ランチ」「関係団体展示」ほか
- ・協賛等 いわてウインターリゾート協議会



イ 盛岡さんさ踊りへの参加

- ・参加日 平成 30 年 8 月 3 日（木）
- ・参加者 154 人（外国人：17 か国、76 人）
（前年度 124 人、外国人：18 か国、39 人）
- * 「パフォーマンス賞」受賞

④ 「身近な国際協力～2018 世界フェアトレード・デー inいわて～」の実施

- ・テーマ 「環境×フェアトレード×国際協力～「エシカル」な生活をはじめませんか～」
- ・開催日 平成 30 年 5 月 19 日（土）
- ・会場 国際交流センター
- ・共催 環境学習交流センター、国際協力機構東北支部
- ・内容 フェアトレードカフェ、映画上映、フェアトレード物品販売等
- ・参加者 217 人（ボランティア 9 人）



⑤ 国際協力機構（JICA）研修員の受入れ実施

青年研修イラク「防災」コースの受入を行った。震災全容の講座、三陸鉄道復興、市町村の後方支援、NPO 法人による被災者支援と復興の取組み、マスコミの果たす役割等の講義のほか、岩手の青年との交流を図った。

- ・期間 平成 30 年 9 月 15 日（土）～25 日（火）
- ・受入人数 9 人

⑥ ホストファミリーの登録・活用

ア ホストファミリーの登録・活用

ホストファミリーの登録を行い、ホームステイの依頼に応じて活用を促進した。

- ・登録者 65 家庭、活用 4 件（14 家庭）（前年度 49 家庭 4 件）

イ ホストファミリー交流会

ホームステイへの関心を高め、新規登録の拡大を図るため実施した。

- ・開催日 平成 30 年 7 月 21 日（土）
- ・会場 国際交流センター
- ・ゲストスピーカー AFS日本協会岩手支部事務局、アールラム大学盛岡事務所
- ・参加者 21 人

⑦ いわて国際化人材の登録・活用

在住外国人や海外経験のある方々、通訳や翻訳に対応できる方々等の登録を行い、講師紹介の依頼があった際に紹介を行った。

- ・登録者 個人 250 人、団体 3 団体、依頼件数 79 件、活用件数 61 件
（前年度 個人 187 人、団体 3 団体、依頼件数 71 件、活用件数 54 件）

(2) 国際理解の推進

① 国際交流センター内の企画展示

展示コーナーを活用し、年間を通じて時宜をとらえた各種企画展示を行った。

	期 間	テーマ
1	4 月 4 日～6 月 30 日	世界とつながるフェアトレード&国際協力
2	6 月 10 日～8 月 31 日	「世界はともだち～」グループ盛岡さんさ踊り写真展
3	6 月 9 日～8 月 16 日	多彩な雲南 雲南省少数民族の人形と民族衣装展
4	7 月 26 日～7 月 31 日	アイーナ N活フェア パネル展示
5	8 月 7 日～9 月 20 日	盛岡さんさ踊りパフォーマンス賞受賞記念展
6	8 月 21 日～12 月 7 日	いわて協創グローバル人材育成プログラム
7	9 月 4 日～10 月 12 日	世界の衣文化①
8	9 月 20 日～12 月 7 日	2018 ワン・ワールド・フェスタ in いわて予告展
9	10 月 13 日～12 月 7 日	世界の衣文化②
10	12 月 16 日～12 月 25 日	クリスマス展
11	12 月 25 日～1 月 7 日	謹賀新年
12	1 月 7 日～2 月 5 日	世界の食文化～ところが変われば食も変わる
13	2 月 8 日～3 月 31 日	「世界の多様性を考える」企画展

(3) 市町村、市町村国際交流協会、国際交流団体等との連携

① 地域国際化推進会議の開催（県委託）

地域における国際化及び多文化共生推進の必要性という視点を共有するとともに相互の連携を強化することを目的として開催した。

地域	期日等	
	期 日	期日等
県央広域振興圏	期 日	平成 30 年 4 月 23 日（月）
	会 場	アイーナ 会議室 501
	参加者	8 市町村 6 協会
県南広域振興圏	期 日	平成 30 年 4 月 25 日（水）
	会 場	奥州地区合同庁舎 分庁舎 3 階 大会議室
	参加者	8 市町村 5 協会
沿岸広域振興圏	期 日	平成 30 年 4 月 19 日（木）
	会 場	釜石地区合同庁舎 4 階 大会議室
	参加者	8 市町村 5 協会
県北広域振興圏	期 日	平成 30 年 4 月 16 日（月）
	会 場	久慈地区合同庁舎 6 階 大会議室
	参加者	8 市町村 5 協会

② 地域国際化人材育成研修の実施（県委託）

地域の国際化、多文化共生を担う人材を育成するため、市町村及び市町村国際交流協会職員等を対象に、国際交流・多文化共生の現状と課題、外国人に関わる諸制度等、国際交流・多文化共生に係る基礎的知識について学ぶ研修会を開催した。

回	テ ー マ	講師
第 1 回	講義①-1 県内外国人の状況と災害時対応	県国際交流協会
	講義①-2 県の取組	県国際室・県 I L C 推進室
	講義② 入管制度と在留資格	行政書士 横山 勝 氏
第 2 回	講義③ 生活者としての外国人とのコミュニケーション	岩手大学 松岡洋子 氏
	講義④ 外国人相談対応（事例紹介）	行政書士 中澤 弘文 氏

実施状況

地域	第 1 回		第 2 回	
	開催日・会場	参加者	開催日・会場	参加者
県央広域振興圏	平成 30 年 7 月 2 日（月） アイーナ 会議室 501	14 人	平成 30 年 7 月 24 日（火） マリオス 185・186 会議室	15 人
県南広域振興圏	平成 30 年 7 月 5 日（木） 北上地区合同庁舎大会議室	15 人	平成 30 年 8 月 7 日（火） 北上地区合同庁舎大会議室	17 人

沿岸広域 振興圏	平成 30 年 7 月 13 日 (金) 宮古地区合同庁舎 第 2 会議室 A・B	8 人	平成 30 年 7 月 31 日 (火) 宮古地区合同庁舎 第 2 会議室 A・B	10 人
県北広域 振興圏	平成 30 年 7 月 12 日 (木) 二戸地区合同庁舎大会議室	7 人	平成 30 年 8 月 3 日 (金) 二戸地区合同庁舎 2-A・B 会議室	9 人

③ 国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流関係団体の活動活発化に向けた意見交換、情報交換を行った。

ア 第 1 回

- ・開催日 平成 30 年 8 月 23 日 (木)
- ・会場 アイーナ会議室 501
- ・内容 県国際交流協会事業説明及び「2018 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」への参加等についての協議
- ・参加者 19 団体 26 人

イ 第 2 回

- ・開催日 平成 31 年 2 月 28 日 (木)
- ・会場 アイーナ会議室 501
- ・内容 平成 31 年度岩手県国際交流協会実施予定事業説明及び各団体の活動状況等に係る意見交換
- ・参加者 37 団体 48 人 (前年度 34 団体 48 人)

国際交流関係団体連絡会議登録団体数 133 団体 (前年度 133 団体)

分 野	団体数
国際理解	17
国際協力	9
日本語教室	7
青少年	13
学校・教育・文化・スポーツ	16
経済・観光	7
二カ国間交流	32
市町村・一般	32

④ 国際交流関係団体等の活動支援助成

県内の国際交流団体等及び市町村国際交流協会が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動や事業に要する経費の一部を助成した。

ア 国際交流団体等

・助成数 3件、助成総額 300千円（前年度 2件、〃 200千円）

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
リトアニア共和国合唱交流事業	一関グリークラブ	100,000円 (9,990,515円)
第28回外国人による日本語スピーチコンテスト	国際ゾンタ盛岡ゾンタクラブ	100,000円 (409,516円)
ダプッツォ夫妻による芸術文化交流事業	(特非)岩手未来機構	100,000円 (292,567円)

イ 市町村国際交流協会

・助成数 6件、助成総額 584千円（前年度 9件、〃 970千円）

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
国際交流フェスティバル IN TAKIZAWA	滝沢市国際交流協会	100,000円 (161,901円)
ボランティア通訳養成講座 2 nd Semester	釜石市国際交流協会	100,000円 (224,044円)
キッズワールドクラブ	(一財)遠野市教育文化振興財団	100,000円 (383,005円)
キッズサマースクール in けせん	陸前高田市国際交流協会 (気仙地域広域事業)	200,000円 (1,852,679円)
アフリカンリズム&ダンス in 金ヶ崎	金ヶ崎町国際交流協会	100,000円 (353,260円)
交流推進事業 HALLOWeeeeeeN!!	久慈市国際交流協議会	84,000円 (105,584円)

ウ 日本語教室

・助成数 5件、助成総額 400千円（前年度 6件、〃 417千円）

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
岩手町国際交流協会日本語サロン	(特非)岩手町国際交流協会	80,000円 (148,596円)
日本語教室「いっばいっば」運営事業	日本語教室「いっばいっば」	80,000円 (112,946円)
日本語交流室「じょい」日本語指導	日本語交流室「じょい」	80,000円 (120,513円)
“多文化共生の社会づくり醸成のため”の「日本語教室」開催事業	川崎 21世紀国際交流クラブ	80,000円 (105,584円)
日本語講座	一関国際交流協会	80,000円 (100,000円)

④ 国際交流関係団体等との共催事業の実施

ア 海外青少年招聘事業

『震災からの復興』と『ラグビー』を活用した国際友好交流促進、高校生同士の交流経験を通じたグローバル人材の育成、ワールドカップ大会後のスポーツ交流人口拡大に向けたホームステイ、民泊のインフラモデルの造成と釜石鶴住居復興スタジアム活用等を目的としてニュージーランドクライストチャーチ市のクライストカレッジ高校ラグビー部U-16の高校生を岩手県に招聘して国際交流、文化交流、ラグビー交流を関係団体等との共催により実施した。

(ア) 共催等

釜石市、北上市、岩手県教育委員会、
(公財) 岩手県体育協会、岩手県高等学校体育連盟ラグビー専門部、(一社) 岩手県ラグビーフットボール協会、
(株) かまいしDMC、釜石市国際交流協会、(一社) 北上市国際交流協会、
滝沢市国際交流協会



(イ) 招聘高校及び人数

ニュージーランドクライスト・カレッジ高校ラグビー部 (U-16) 選抜選手 20名とコーチ 2名

(ウ) 日程

平成 30 年 9 月 27 日 (木) ～10 月 5 日 (金) 8 泊 9 日

(エ) 訪問先等

学校訪問：釜石高校、黒沢尻北高校、北上翔南高校、黒沢尻工業高校、盛岡農業高校

ラグビー交流：

- ・交流試合：岩手県 U-17 次期国体選抜チーム、障害者支援施設 緑生園
- ・合同練習、ミニゲーム：釜石高校、釜石商工高校、黒沢尻北高校、黒沢尻工業高校ほか

2 多文化共生の地域づくり

(1) 情報の収集・提供

① 多言語ホームページによる情報提供

ホームページやブログ、フェイスブック、ツイッターを通じて日本語、英語及び中国語で各種情報提供を行った。

- ・ホームページの来訪者数 179,281件（前年度 38,196件）*トップページアクセス数

② 多言語の国際交流情報紙の発行

日本語、英語及び中国語の国際交流情報紙を年6回発行した。

- ・発行部数 4,000部/回 合計 24,000部

③ 国際交流・協力・多文化共生に関する図書・情報の収集・提供

外国語も含めた蔵書やビデオ・DVDの教材等、国際交流関連の情報の収集・提供を行った。

- ・蔵書等のデータベース登録 7,013冊（前年度 7,965冊）
- ・資料収集国 190か国（前年度 190か国）
- ・国別ボックス 30箱/56か国（前年度 30箱/56か国）
- ・民族衣装 24か国/65セット（前年度 23か国/63セット）



④ いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンクの開設（県補助）

ア いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンクの開設

県内各地で国際交流・国際協力、多文化共生の効果的・効率的な取組を進めるための情報の共有や活用を図るリソースバンクを開設した。

掲載サイト

<http://www.iwate-resource-bank.jp/>

掲載情報

（パブリックデータ）

国際交流・多文化共生事業、姉妹都市交流事業、海外派遣事業、訪日・在住外国人へ提供する情報、「外国人のための いわて生活情報ハンドブック」、「外国人児童・生徒のための就学支援ハンドブック」、「外国人のための いわて多言語子育てハンドブック」

（プライベートデータ）

国際交流・多文化共生事業、姉妹都市交流事業、海外派遣事業、訪日・在住外国人へ提供する情報、所在する市町村からの財政措置状況（市町村国際交流協会）、JETプログラム参加青年紹介、国際化人材の情報

イ 「外国人のための いわて生活情報ハンドブック」等の改訂・発行

本県に在住する外国人が生活上に必要な基本的な情報等を、英語、中国語（簡体字）、ベトナム語及び日本語で掲載したハンドブックを改訂し、関係機関等へ配布した。



- (ア) 「外国人のための いわて生活情報ハンドブック」
 作成部数 1,000 部
 情報転載依頼先 (一財)自治体国際化協会 多言語生活情報
- (イ) 「外国人児童・生徒のための 就学支援ハンドブック」
 作成部数 700 部
 編集協力 岩手県教育員会事務局学校教育課
 岩手県立総合教育センター支援相談部
- (ウ) 「外国人のための いわて子育てハンドブック」
 作成部数 500 部
 編集協力 岩手県保健福祉部子ども子育て支援課

(2) 日本語学習支援

① 日本語サポーターの登録・育成と活用

ア 日本語サポーターの登録と活用

日本語サポーターの登録と活用により、在住外国人のニーズに対応した日本語学習を支援した。

- ・登録者 124 人（前年度 104 人）
- ・活用 62 件（前年度 39 件）

イ 日本語サポーター研修の実施

日本語サポーターの育成を目的に、6回シリーズの日本語サポーター研修を実施した。また、実際に日本語学校の授業を見学する特別研修も実施した。

- ・講師 盛岡大学文学部准教授 嶺岸 玲子 氏
- ・開催日 平成 30 年 7 月 8 日（日）、7 月 22 日（日）、8 月 19 日（日）、9 月 2 日（日）、9 月 30 日（日）、10 月 14 日（日）、平成 31 年 2 月 27 日（水）
 特別研修：上野法律ビジネス専門学校日本語学科授業見学
- ・会場 アイーナほか
- ・参加者数 延べ 100 人（特別研修含む）

(3) 外国人県民等の生活支援

① 外国人相談の実施

国際交流センターの機能の一つである「外国人相談」について、職員や中国人、韓国人、フィリピン人等英語圏対応及びベトナム人の各外国人相談専門員、国際交流補助員等で日常的な相談に対応した。

ア 相談窓口の設置

国際交流センターに相談窓口を設置し、生活上の問題をはじめとして幅広い相談への対応のほか、留学生等の生活支援にも対応した。

- ・相談件数 382 件（前年度 444 件）（イ、ウ、エの相談件数を含む。）

(相談内容の内訳)

年度	コミュニケーション	住居	教育	医療・保健・福祉	行政手続	その他
28年度	49	9	53	51	163	180
29年度	26	4	23	54	235	102
30年度	14	4	10	8	220	126

イ 相談専門員等の配置

- ・外国人相談専門員(中国語、1人) センター開館時間
- ・外国人相談専門員(韓国語、1人) 第3水曜日 14:00～16:00
- ・外国人相談専門員(英語、1人) 水曜日 14:00～16:00
- ・外国人相談専門員(ベトナム語、1人) 水曜日 14:00～16:00
- ・国際交流補助員(スペイン語、1人) 土曜日・日曜日 9:00～16:00
- ・国際交流補助員(マレーシア語、1人) 火曜日・土曜日 17:15～21:15

ウ 外国人定期相談日

岩手県行政書士会と連携し、行政手続等に関する専門相談に応じる相談日を定期的(毎月第3水曜日)に開設した。

- ・開設数 12回 相談件数 11件(前年度 12回 10件)
また、岩手弁護士会と連携し、無料相談会を開設した。
- ・開設数 1回 相談件数 5件

エ 地域巡回相談

外国人相談専門員等が各地域を巡回し、地域在住の外国人への相談対応や情報提供を行った。

- ・巡回か所 3か所(前年度 8か所)
- ・相談件数 31件(前年度 22件)

② いわて災害時外国人支援体制の構築

東日本大震災の教訓を踏まえ、災害時における外国人に対応した支援体制を構築するため、災害時の外国人対応等についての研修会、実践訓練を実施し、新たに8名の「災害時多言語サポーター」を認定・登録した。また、ラグビーワールドカップ2019TM 釜石開催も見据えて災害時サポートの英語講座を盛岡市と釜石市で開催し、外国語での災害時の対応力の強化に取り組んだ。

ア 災害時における外国人支援体制の構築及び外国人の防災意識の醸成

- ・「やさしい日本語」研修会の実施

講師 弘前大学人文学部社会言語学研究室 教授 佐藤和之 氏
(概説編)

開催日 平成30年8月24日(金)

会場 マリオス 188 会議室

内容 やさしい日本語の必要性やその有効性、具体的な活用例などについての講義

参加者数 38人

(演習編)

開催日 平成 30 年 9 月 7 日 (金)
会場 アイーナ 団体活動室 2・3
内容 やさしい日本語の言い換え方法
参加者数 26 人



- ・釜石大槌地区災害医療訓練への多言語支援者の派遣

実施日 平成 30 年 9 月 22 日

対応言語 英語

派遣人数 1 人 (いわて国際化人材登録者)

- ・JET プログラム参加者への説明

文科省 JET プログラムで招聘された青年に対し、オリエンテーションにて、災害時の対応についての説明を実施。

実施日及び人数 平成 30 年 8 月 1 日 (水) 5 人、

平成 30 年 8 月 8 日 (水) 8 人

イ 災害時における多言語支援者の育成・登録、防災訓練等の実施

- ・多言語支援者の登録・育成

災害時多言語サポーター 新規登録者数 8 名

(平成 28 年度からの累計 32 名)

- ・災害時多言語サポート基礎研修 (災害時支援に必要な基礎を理解する)

開催日 平成 30 年 10 月 13 日 (土)

場所 アイーナ 団体活動室 2・3

内容・講師

講座①「岩手の災害について」岩手大学客員教授 越野 修三氏

講座②「外国人コミュニケーション」岩手大学 教育推進機構 教授 松岡 洋子氏

参加者数 31 人

- ・ブラッシュアップ研修 (外国人支援について、実践的に学ぶ)

開催日 平成 31 年 1 月 27 日 (日)

場所 アイーナ 会議室 501

ファシリテーター 岩手大学客員教授 越野 修三氏

事例提供 (公財) 札幌国際プラザ 大高 紡希氏

内容 北海道胆振東部地震における外国人観光客等への対応から、外国人に必要な災害時の支援や、その対応方法についてワークショップ形式で学ぶ。

参加者数 37 人

- ・災害時多言語サポート 英語講座

内容 災害時の英語での対応力を高めるための実践を学ぶ。

場所 2 地域 (盛岡、釜石) 各 6 回

実施委託先 ノース・リンク (代表者 照井 里江子) [盛岡市]

(盛岡会場)

受講者数 32 人

開催日・テーマ・出席者数

第1回 (6/17) 「はじめに/災害を知る」	29人
第2回 (7/22) 「救急救命/救急車対応」	24人
第3回 (8/19) 「災害関連情報の翻訳」	24人
第4回 (9/9) 「医療現場でのサポート」	25人
第5回 (10/14) 「ハザードマップと避難経路の把握」	22人
第6回 (11/4) 「効果的なコミュニケーションのコツとまとめ」	15人
延べ出席者数	139人

(釜石会場)

受講者数：19人

開催日・テーマ・出席者数

第1回 (5/27) 「はじめに/災害を知る」	17人
第2回 (7/8) 「避難所の運営」	14人
第3回 (8/26) 「救急対応の補助」	16人
第4回 (9/30) 「異文化コミュニケーション &インタラクション」	9人
第5回 (10/28) 「医療現場でのサポート」	10人
第6回 (11/18) 「避難と災害危機管理」	11人
延べ出席者数	77人

・実践訓練の実施

- ・岩手県総合防災訓練 (宮古市国際交流協会の主導で実施)

実施日 平成30年11月17日(土)

実施場所 宮古市ほか

内容 県総合防災訓練における外国人対応訓練の実施

参加者数 20人

- ・国民保護共同実働訓練 (釜石市との協働で実施)

実施日 平成31年1月15日(火)

実施場所 釜石市鶴住居復興スタジアム

内容 避難所における外国人対応訓練

参加者数 13人

- ・災害時多言語サポート 実践訓練

実施日 平成31年2月11日(月・祝)

場所 アイーナ会議室 501 他

ファシリテーター 岩手大学客員教授 越野 修三氏

アドバイザー 岩手大学 教育推進機構 教授 松岡 洋子氏

内容 地震発生時の外国人への多言語対応(やさしい日本語を含む)について実践的な訓練を実施。

対象者 多言語サポーターや外国人支援に関心のある方

参加者数 31人

③ 外国人患者受入体制構築事業（県補助）

ア 多文化共生担当者研修会の開催

市町村の保健福祉や住民窓口等の担当者を対象に、外国人からの医療相談に対応するためのノウハウを学ぶための研修会を実施した。

- ・外国人患者からの医療相談対応研修会

開催日 平成 30 年 11 月 21 日(水)

会場 マリオス 会議室 181

講師 (特非)AMD A国際医療情報センター 理事長 小林 米幸 氏

受講者 44 人

イ 関係者等との意見・情報交換の実施

外国人患者の受入れの取組を進めるため、関係者等との意見・情報交換を実施した。

実施回数 5 回、延べ出席者数 24 人

ウ 医療機関を対象としたセミナーの開催

他県における先進的な取組事例などを参考に、本県の外国人患者受入れについて考える機会とするためのセミナーを開催した。

- ・外国人の医療支援セミナー

開催日 平成 31 年 3 月 3 日(日)

会場 釜石市民ホール TETTO ホール B

講師 りんくう総合医療センター国際診療科部長

南谷 かおり 氏

受講者 59 人



エ いわて多文化医療ガイドブックの作成

医療文化の違い等から生じる誤解やすれ違いなどのトラブル軽減を図るため、病院等を受診する外国人が基本的に知っておくべき情報を多言語で掲載するガイドブックを作成した。

「外国人のための いわて多文化医療ガイドブック」

言語 英語、中国語(簡体字)、ベトナム語及び日本語

作成部数 2,000 部

編集協力 岩手県保健福祉部健康国保課、岩手県保健福祉部医療政策室

④ 私費外国人留学生支援

ア 奨学金支給（県補助）

私費外国人留学生に月額 2 万円の奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、当協会の活動をはじめ、県内各地で行われた国際交流活動や県内就職に関するフォーラム等に積極的に参画した。

- ・受給者 10 人 国際交流等活動実績 延べ 172 件

(前年度 10 人 国際交流等活動実績 延べ 153 件)

[内訳] 平成 30 年 4 月 岩手大学大学院生 4 人

平成 30 年 4 月～9 月 岩手大学大学院生 7 人、岩手大学学部学生 3 人

平成 30 年 10 月～平成 31 年 3 月 岩手大学大学院生 6 人、

岩手大学学部学生 4 人

イ 県内就職支援

外国人留学生に対し、県内で実施した就職支援セミナー等、就職関連の情報提供を行った。

(4) 地域づくりセミナーの開催

① 多文化共生地域づくりセミナーの実施（県委託）

県民が外国人の多様性について認識を深め、外国人と共生するまちづくりについて考える契機とするためのセミナーを開催した。

開催日 平成 30 年 10 月 19 日（火）
 会場 アイーナ 団体活動室 2・3
 内容 地域の国際化や多文化共生についての基本的な理解を深め、地域の課題を認識するための講義及び演習を実施した。



講師 群馬大学 大学教育学生支援機構大学教育センター教授
 結城 恵氏
 参加者 48 人

② 多文化共生地域づくりワークショップの実施（県委託）

外国人の視点から、地域が持つ新たな魅力を創出し、地域の活性化につなげていくため、地域づくりに関心のある方々を対象として、外国人とともに地域の国際化や多文化共生を切り口としたワークショップを開催し、そこで得られたアイディア等をまちづくりや地域活性化につなげていくことを目的として実施した。

実施状況

地域	期日等	第 1 回	第 2 回
住田町	期 日	平成 30 年 5 月 16 日(水)	平成 30 年 6 月 18 日(月)
	場 所	住田町役場	
	参加者	6 名	20 名
	内 容	住田町夏まつりとの共催による国際交流イベントの開催	
岩泉町	期 日	平成 30 年 11 月 25 日(日)	平成 30 年 12 月 18 日(火)
	場 所	岩泉町小本津波防災センター	
	参加者	11 名	9 名
	内 容	外国人観光客向け観光 PR 冊子の作成	
宮古市	期 日	平成 31 年 2 月 18 日(月)	平成 31 年 3 月 10 日(日)
	場 所	ゲストハウス 3710	
	参加者	5 名	49 名
	内 容	大型外国客船の外国人観光客向けまち歩きポイント等意見聴取	
一戸町	期 日	平成 31 年 3 月 5 日(火)	平成 31 年 3 月 20 日(水)
	場 所	御所野縄文博物館	
	参加者	6 名	14 名
	内 容	外国人観光客向け館内・公園ガイドの改善ポイント等意見聴取	

3 次代を担う人づくり

(1) 講座・研修

① いわてグローバル・カレッジの開催

グローバルな視点から岩手の国際化や多文化共生について理解を深めるための講演会を開催した。

- ・講師 行政書士 横山 勝氏
- ・テーマ 外国人労働者の受入拡大に向けた取組動向～出入国管理法改正による新たな在留資格等について
- ・開催日 平成 31 年 2 月 28 日 (水)
- ・場所 アイーナ 会議室 501
- ・参加者数 63 人

② 世界とのかけはしとなる人材育成支援事業「いわて青年国際塾」の開催

ア 「ドイツの食文化・ハラル食のソーセージ作り」

- ・開催日 平成 30 年 5 月 30 日 (水)
- ・場所 ドイツ料理レストラン バクシュトウーベ (花巻市)
- ・参加者数 8 人 (県立花巻農業高校)

イ 「アメリカのライフスタイルを学ぶ」

- ・開催日 平成 30 年 6 月 10 日 (日)
- ・場所 まちや世田米駅交流スペース (住田町)
- ・参加者数 15 人

ウ 合宿研修

- ・開催日 平成 30 年 9 月 22 日 (土)～24 日 (月)
- ・場所 国立岩手山青少年交流の家
- ・参加者数 35 人



エ ワークショップ (2018 ワン・ワールド・フェスタ inいわて同日開催)

「スマホから考える世界・わたし・SDGs」
「オリンピックの前に知っておきたい日本と韓国のつながり」

- ・開催日 平成 30 年 12 月 7 日 (土)
- ・場所 アイーナ アイーナギャラリー
- ・参加者数 104 人

オ いわて青年国際塾 (大船渡高校開催)

- ・開催日 平成 31 年 1 月 17 日 (木)
- ・場所 岩手県立大船渡高校
- ・参加者数 200 人



カ いわて青年国際塾 (岩泉町開催)

- ・開催日 平成 31 年 1 月 19 日 (土)
- ・場所 岩泉町うれいら通り商店街、龍泉洞
- ・参加者数 6 人

キ 講座「世界の多様性を考える」

- ・開催日 平成31年3月1日（金）
- ・場所 アイーナ8階 会議室812
- ・参加者数 85人

ク いわて青年国際塾 in 北上市

- ・開催日 平成31年3月9日（土）
- ・場所 北上市生涯学習センター
- ・参加者数 10人

ケ ワークショップ「若者×SDGs×地域」

- ・開催日 平成31年3月20日（水）
- ・場所 アイーナ6階 団体活動室2
- ・参加者数 32人

コ インターナショナルナイト in 山田町

- ・開催日 平成31年3月22日（金）
- ・場所 山田町中央コミュニティセンター
- ・参加者数 100人

③ 職業体験の受入れの実施

県内学校等の依頼に応じ、小学生から大学生までの学生のインターンシップ・プログラムの受入れを行った。

- ・受入実績 16校、102人（前年度 14校、109人）

依頼先	内容	受入期間	日数	人数
厨川小学校	センター紹介	平成30年7月6日	1	64
盛岡みたけ支援学校	センター紹介	平成30年7月19日	1	10
雫石町立雫石中学校	職場体験	平成30年8月3日	1	1
岩手大学教育学部附属小学校	職員への質問	平成30年8月4日	1	1
岩手県立盛岡北高等学校	職場体験	平成30年8月7日	1	1
盛岡北高校	職員への質問	平成30年8月8日	1	1
岩手県立大学	職員への質問	平成30年8月8日	1	1
盛岡北高校	職員への質問	平成30年8月9日	1	1
不来方高校	職員への質問	平成30年8月9日	1	1
東北大学、高崎経済大学、 専修大学	センター紹介	平成30年8月21日	1	4
アールラム大	センター紹介	平成30年8月22日	1	8
盛岡大学	職員への質問	平成30年11月4日	1	2
盛岡大学	インターンシップ	平成30年7月21日 ～22日	2	1
沼宮内高等学校	インターンシップ	平成30年8月28日 ～29日	2	2
岩手大学	ジョブシャドウ	平成30年9月14日 ～15日	2	1

岩手県立大学	インターンシップ	平成 30 年 9 月 23 日 ～24 日	2	1
岩手町立川口中学校	職場体験	平成 30 年 9 月 5 日 ～7 日	3	1
岩手県立大学 盛岡短期大学部	職員への質問	平成 30 年 11 月 22 日	1	1

(2) 海外研修員等の受入れ

① 海外研修員等のサポート（県委託）

県からの委託により、県が受け入れた海外自治体職員研修員及び海外技術研修員の研修や生活上のサポートを行った。

区 分	氏 名	期 間	出身国	研修(内容)・留学先
海外自治体職員研修員	おう 王 喆	平成 30 年 5 月～ 平成 31 年 4 月	中国	岩手県
海外自治体職員研修員	り 李 悦	平成 29 年 5 月～ 平成 30 年 4 月	中国	岩手県
海外技術研修員	佐々木 ベロニカ ナタリア	平成 30 年 6 月～ 平成 30 年 11 月	アルゼンチン	エスポワール 岩手

(3) 「いわてグローバル人材育成推進協議会」事業の運営（県委託）

① トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム・地域人材コースの実施

地域に貢献するグローバル人材を育成するため、県内大学生等の海外留学を支援した。

・派遣学生数 5名

(派遣国：タイ、ベトナム、英国・フィンランド、台湾、ハンガリー)

② グローバルキャリアフェアの実施

外国人青年や留学生等のグローバル人材の県内企業への就職を支援するため、キャリアフェア及びインターンシップを実施した。

ア キャリアフェアの開催

- ・開催日 平成 30 年 11 月 3 日（土）
- ・会場 ホテルメトロポリタン盛岡
- ・参加企業 18 社
- ・参加者数 49 人
(うち内定者 2 人)



イ インターンシップの実施

- ・実施期間 平成 30 年 12 月上旬～平成 31 年 2 月上旬
- ・参加企業 3 社
- ・参加者数 3 人

③ 外国人や海外経験を有する日本人学生等と企業との交流会の開催

留学支援事業による派遣学生をはじめとする海外留学に関心の高い日本人学生並びに外国人留学生等のグローバル人材と県内企業との「つながり」の場を創出し、グローバル人材と県内企業等との相互理解促進を深める機会を提供した。

ア ワークショップ

- ・開催日 平成 30 年 7 月 14 日 (土)
- ・会場 アイーナ 703 会議室
- ・参加企業 2 社
- ・参加者数 7 人

イ 企業訪問

(ア) 第 1 回

- ・実施日 平成 30 年 11 月 28 日 (水)
- ・訪問先 岩泉乳業株式会社、
浄土ヶ浜レストハウス
- ・参加者数 34 人

(イ) 第 2 回

- ・実施日 平成 31 年 2 月 18 日 (月)
- ・訪問先 みちのくコカ・コーラボトリング(株)花巻工場、
リコーインダストリアルソリューションズ(株)
- ・参加者数 19 人



＜管理部門＞

1 評議員会・理事会等の開催状況

評議員会、理事会、専門委員会等の開催状況は、次のとおりである。

開催日	会議名	会議の概要
平成 30 年 5 月 21 日(月)	評議員選定委員会	評議員の選任
6 月 8 日(金)	第 27 回理事会	決議事項 1 平成 29 年度事業報告及び附属明細書の承認 2 平成 29 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認 3 定時評議員会の招集 4 定款の一部改正及び関連規則等の改正
6 月 27 日(水)	第 9 回評議員会	決議事項 1 平成 29 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認 2 理事の選任について 3 定款の一部改正の決議
6 月 27 日(水)	第 28 回理事会	業務執行理事の選任及び報酬月額の設定並びに事務局長事務取扱いの任命
9 月 11 日(火)	第 1 回企画推進 専門委員会	委員長及び副委員長の互選、長期ビジョンの策定に係る諮問、長期ビジョンの素案(方向性等)
10 月 22 日(月)	評議員選定委員会	評議員の選任
10 月 23 日(火)	第 2 回企画推進 専門委員会	長期ビジョンの素案(施策内容等)
11 月 12 日(月)	第 29 回理事会	報告事項のみ
11 月 12 日(月)	評議員及び役員合同 の意見交換会	平成 30 年度主要事業実施状況及び長期ビジョンの素案に関する意見交換
平成 31 年 2 月 5 日(火)	第 3 回企画推進 専門委員会	長期ビジョンの素案(最終案)
3 月 14 日(木)	第 30 回理事会	決議事項 1 長期ビジョンの策定 2 平成 31 年度事業計画書及び収支予算書の承認 3 財産運用規程の一部改正 4 県出資等法人に係る中期経営計画書(2019 年度～2022 年度)の承認
3 月 26 日(火)	第 31 回理事会(書 面表決)	事務局の重要な職員の任命

2 業務執行体制等

(1) 職員の状況

平成 30 年度末の事務局職員数は、常勤職員 12 名、非常勤相談員 3 名、非常勤補助員 2 名である（事務局長事務取扱役員を除く）。

(2) コンプライアンス体制及び職員研修

当協会の目的や公益財団法人の職員としての心構えや期待されていることについて、職員の意識を涵養するため理事長講話・訓示を行うとともに、外部講師による入国管理制度に関する研修を実施した。また、自治体国際化協会等、外部研修に積極的に職員を派遣した。

また、平成 31 年 3 月、外部委員 1 名を加えたコンプライアンス委員会において、平成 30 年度における問題事案の発生はなかった旨を確認するとともに、結果を理事会に報告した。

(3) JICA 国際協力推進員の配置

当協会と JICA（独立行政法人国際協力機構）が連携して県民の国際協力活動を促進するため、JICA 東北支部との協定により、平成 30 年度も協会内に JICA デスクを設置し、国際協力推進員を継続配置した。

3 寄附金及び賛助会員の状況

寄附金及び賛助会員の状況は、次のとおりである。

(1) 寄附金の受入れ

次の 37 件 2,680,000 円の寄附金を受け入れた。

① 一般寄附金

4 件 240,000 円

② 協賛寄附金

33 件 2,440,000 円

(2) 賛助会員の入退会

賛助会員の新規入会を促進するため、平成 30 年 4 月から 6 月及び 11 月に募集キャンペーンを行ったほか、年間を通じて、イベント開催時に参加者に賛助会員入会の呼びかけ等を行った結果、平成 30 年度の新規入会は 33 件となった。

平成 30 年度中の入退会の状況は、次のとおりである。

	平成30年3月末	入 会	退 会		平成31年3月末	増 減
			退会届	職権退会		
個人会員	301	27	14	21	295	△ 6
学生会員	20	5	1	3	21	1
団体会員	48	1	1	2	46	△ 2
合 計	369	33	16	26	362	△ 7

平成 30 年度事業報告についての附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年 5 月

公益財団法人岩手県国際交流協会